

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	7013-1	(H.24)No.	7013-1
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	市立病院(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	経営総務室	今井 寛	

会計区分	事業コード
病院事業会計	(中事業名) 予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
基本理念である「市民のみなさまに親しまれ信頼される病院を目指します」を常に念頭に置いて市民の命と健康を守ります。
事業内容
良質で高度な二次医療の提供と救急医療に重点を置き、地域の中核病院として機能を果たしてきました。近年、医師不足が深刻な状況となり、医療体制や、経営面においても医師不足が大きく影響し、厳しい状況となっています。こうした状況下、市立病院改革プランに基づく経営健全化と医師確保を最重点課題として取組を進めるとともに、医療機器更新や医師業務の負担軽減を図るなど魅力ある病院づくりに努めています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・病床数：一般200床 ・24年度実績 年間延患者数 入院 52,012人 外来76,205人 一日平均患者数：入院142.5人、外来311人	・病床数：一般200床 ・計画 年間延患者数 入院58,400人 外来85,644人 一日平均患者数：入院160人、外来351人	・病床数：一般200床 ・計画(年間延患者数 入院58,400人 外来85,644人、一日平均患者数：入院160人、外来351人)	・病床数：一般200床 ・計画(年間延患者数 入院58,400人 外来85,644人、一日平均患者数：入院160人、外来351人)	・病床数：一般200床 ・計画(年間延患者数 入院58,400人 外来85,644人、一日平均患者数：入院160人、外来351人)

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	3,178,739千円	2,966,535千円	2,966,535千円	2,966,535千円	2,966,535千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債	134,800	57,500			
その他()	1,852,469	1,924,025	1,981,525	1,981,525	1,981,525
一般財源	(0) 1,191,470	985,010	985,010	985,010	985,010
人員数					
職員	217.0人	231.0人	231.0人	231.0人	231.0人
臨時職員等	46.0人	49.0人	49.0人	49.0人	49.0人
概算人件費	(0千円) 2,211,897千円	2,313,000千円	2,313,000千円	2,313,000千円	2,313,000千円
+ 総事業費	(0千円) 5,390,636千円	5,279,535千円	5,279,535千円	5,279,535千円	5,279,535千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成24年6月1日に三重県知事から医療法に基づく「地域医療支援病院」の承認を受けました。また、三重大学への寄附講座の設置に伴う医師派遣、卒後臨床研修医の受け入れ等により、医師の確保を推進することができた。引き続き医師確保に努めるとともに災害拠点病院の指定に向けた体制の整備が求められている。	既設機器・設備の更新、新機種導入により医療サービスの充実に努めるとともに、受け入れ患者数の増等により収益改善を図る。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	「地域医療体制に満足している市民の割合」の目標達成に貢献している。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
地域医療支援病院の承認を受けたことに伴い、今後さらに一層、地域医療体制の充実や市民への医療サービスの向上に努めるとともに、南海トラフを震源とする大規模地震の発生時への対応に備えた「災害拠点病院」としての機能発揮に向けた施設や体制の整備を図りつつ医療収益の改善、増加に努めます。	